

Game Report

開催場所：鹿屋体育大学

試合区分：第 24 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2017 年 9 月 10 日(日)

試合時間：17：20～

主審：原田 拓朗

副審：川島 司

東海大学九州	● 7 6	11	—1st—	24	○ 8 2	日本経済大学
		18	—2nd—	18		
		22	—3rd—	20		
		25	—4th—	20		

第 1 ピリオド

日経大 #9 山崎のジャンプシュートで試合の幕が開ける。対する東海大も #11 趙がインサイドに跳び込み、すぐさま 2 点を入れ返す。一進一退の攻防が続く中、先に抜け出したのは日経大。#22 浅井の 3 P シュート、#99 蔡もジャンプシュートで続き、ルーキーコンビが流れを引き寄せる。終盤、東海大は #20 玉井の 3 P シュートで一矢報いるが、日経大も #35 小野が 3 P シュートを決め返す。11-24、日経大が 13 点をリードし、第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

先制したのは日経大。#99 蔡がローポストから押し込み、ゴール下で得点する。追いつきたい東海大はタイムアウトを請求。元監督の激しい檄が飛ぶ。活気付いた東海大は、#11 趙が 3 P シュートを決め、日経大に食らいつく。中盤、日経大はリバウンドから流れを掴む。激しくマークされながらも、#31 矢野がインサイドで気を吐く。終盤、日経大は #99 蔡を再投入。#99 蔡はすぐさま得点し、ベンチの期待に応える。しかし終了間際、東海大 #7 林のシュートがブザーとともにリングに吸い込まれる。29-42、日経大リードは変わらず、試合を折り返す。

第 3 ピリオド

点差を縮めたい東海大は、#7 林にボールを集める。スクリーンを上手く使いフリーになった #7 林はジャンプシュートを決め、エースの意地を見せる。流れを掴んだ東海大は速い展開に持ち込み、#11 趙、#20 玉井が速攻の先頭を走る。対する日経大は、前半と変わらずインサイドを攻め立てる。#31 矢野のバスケットカウント、#21 張のファストブレイクが立て続けに決まり、東海大の追い上げを許さない。終盤、コートに戻った #2 長野は堅実なゲームメイクを見せる。決定的なパスを何度も演出するが、東海大のシュートはリングに嫌われる。51-62、日経大がリードを保ち、勝負は最終ピリオドへ。

第 4 ピリオド

序盤、東海大 #2 長野が試合を動かす。#5 北原、#7 林へのアシストが決まり、勢いづく。しかし、リードしている日経大も攻めの姿勢を見せ、#9 山崎、#35 小野の連続 3 P シュートが決まる。ここで東海大がタイムアウト。最後の追い上げに向け、気を締め直す。すると直後、東海大は #7 林の 3 P シュートを皮切りに、#8 佐竹のセカンドチャンス、#2 長野の連続 3 P シュートが決まり、一気に点差を縮める。流れは東海大かに思われたが、日経大も焦りを見せない。#99 蔡が 3 P シュート、ポストアップからの 1 対 1、フェイダウェイシュートと連続で得点し、勝負を決めにかかる。終了間際、#2 長野の 3 P シュートが決まり、最後まで粘りを見せた東海大だが、あと一歩及ばず。76-82 で日経大が激闘を制し、全勝を守り抜いた。